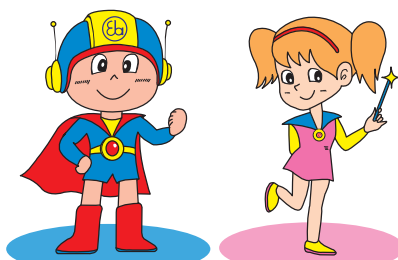


## 11月10日は「エレベーターの日」

1890年（明治23年）11月10日、東京、浅草に完成した12階建ての展望塔「凌雲閣」に、日本初の電動式エレベーターが設置されました。日本エレベーター協会では、この11月10日を「エレベーターの日」と定め、昇降機の安全、安心な利用のためのキャンペーンを実施しています。



凌雲閣（りょううんかく）



ベータくん

エスカちゃん

### 編集後記

当時、学生の多くは「ながら族」だったのではないだろうか。その語感に昭和のかほりが漂うが、深夜にラジオを聞き「ながら」勉強し、その良し悪しが割と頻繁に話題となっていた我が学生時代である。だからというわけではないが、今でも休日にはテレビを点けずにラジオを聞いている。いつもの番組の時間には外出を控えたり、あえて車の運転席に座りチューニングを合わせたり、といった具合である。たまの外出先では、スマホを耳に当てラジコで聞くもまたよし。

よく聞いているのは、話術に長けたベテランアナ（またはタレント）の冠番組で、ゲストとのトークコーナーがある番組。なぜならこれらの番組のゲストは選りすぐりで、印象に残りかつ興味深いタイムリーな話題を提供してくれることが多いから。

ラジオは、聞いたこともない新しい情報をpushで聞かせてくれる。ちょっと前の話題で恐縮だが、（私の場合）「IoT搭載プリンター」とか「資本主義に代わる価値主義社会」「海底探査レース」「煎餅ブラザーズ」「駄カメラ」などなど... 記憶に残ったキーワードを番組の後にググって調べるのも楽しいし、ゲストが作家さんだった時には、話題の作品を購入して反芻（はんすう）してみるのもまた味がある。

pullで得られる情報は自分の知り得る範囲のものでしかないが、偶然か必然かpushで得られた情報には気づきがあり、広がるイメージがある。ラジオ然り、新聞の大見出し然り。それぞれどんな情報をどんな形で提供するかが、プロデューサーや編集者の手腕の見せ所であろう。

さて、我々が編集委員一同も、各種メディアを見習いな

がらエレベータージャーナルが読者の皆様の知識や情報の糧となる紙面となるよう、毎月毎月会合を重ねています。

それとラジオ。災害が多発する今、情報の入手手段として見直されています。万が一のために手元に用意して、たまにはスイッチを入れてみるのもよいのではないのでしょうか？音楽だけでなく、生活に変化を与える気づきが流れてくるかもしれません。（志賀 記）

### ELEVATOR JOURNAL 2018年10月発行 No.22

編集委員 ◎委員長 ○副委員長

◎廣岡 正自	日本オーチス・エレベーター株式会社
○志賀 正己	三菱電機ビルテクノサービス株式会社
比佐 匠一	フジテック株式会社
羽坂佳穂里	三菱電機株式会社
堀越 隆晴	東芝エレベーター株式会社
山口 貴史	株式会社日立ビルシステム
武藤 健司	パナソニックホームエレベーター株式会社
吉田 憲司	三菱日立ホームエレベーター株式会社

発行者 橋本安弘

発行所 一般社団法人日本エレベーター協会

〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2（第2九曜ビル）

TEL (03) 3407-6471 (代) FAX (03) 3407-2259

URL : <http://www.n-elekyo.or.jp>